



4631件

病気の治療で重要な役割を果たすのが、クスリ（医薬品）です。新薬として使われるまでには、効き目や副作用の有無などが念入りに調べられます。確かな効能と安全性が確認されて、初めて治療に使えるようになるのです。

この新薬開発のための治療を兼ねた試験が治験と呼ばれます。NHOが2015年度に行った治験実施症例数は4631件でした。

この治験実施症例数を領域別にみると、最も多いのが「がん」。以下、「循環器」「精神神経」「膠原病」「呼吸器」の順番でした。

クリニックでは実施が困難ながん領域などの治験が主体となっていること、難病などセーフティーネット医療と呼ばれる分野でも治験がたくさん行われているという特徴があります。



NHOは日本最大級の病院ネットワークを形成しています。全国の病院に治験管理室の設置と治験に参加する患者さんをサポートする臨床研究コーディネーターを配置し、治験を適切かつ安全に実施しています。患者さんへのインフォームドコンセントや心のケア、治験関連企業などをサポートし、治験の円滑な実施により医療の発展に貢献しています。